

重点施策6 充実した人生を送るための生涯学習の振興

【施策方針】

八幡浜市教育委員会教育基本方針に基づき、生涯学習の観点に立ち生涯学習推進体制の整備に努め、市民の自発的な学習意欲の高揚と多様化・高度化する学習要求に対応する。

また、生涯をとおして充実した学習活動を展開できるよう必要に応じて学習の機会・学習の場を提供するとともに、支援・協力する。

【実施状況】

(1) 連合婦人会、連合青年団等団体の育成

① 連合婦人会

- 高齢化社会を迎え、女性の学習への在り方を考え、地位の向上に努めた。
- 青少年の健全育成を図るため、明るい家庭、社会づくりと環境の浄化に努めた。
- 各種団体との連携を密にし、女性のふれあいの場、活動の輪を広げるように努めた。

(具体的内容)

5月12日のやわたはま国際MTBレースで、八幡浜ちゃんぼん作りに、2月には、市民健康マラソンで、コンソメスープ作りに参加した。

6月には会員研修としてカラーリングを、10月には香川県にて会員研修を行い、会員同士の交流を図った。

② 連合青年団

- 公民館及び各種団体との連携を図り、地域の活性化に努めた。
- スポーツ活動・ボランティア活動等を通じて、団員の団結力を強めるとともに、青年団及び地域における指導者を養成する。

(具体的内容)

各地区の公民館まつりや盆踊り等に参加した。

平成30年度は、やわたはま国際MTBレース、やわたはまMTB&リレーランチャレンジへボランティアスタッフとして参加した。また7月と3月に球技大会を開催するなど、団員の交流を図った。

③ P T A 連合会

- 会員の質的な充実を図るため、P T A研修活動(講演会の実施)の充実に努めた。
- 地域の良さを生かしたP T A活動の推進に努めた。
- 教育諸条件の整備充実に努めた。

(具体的内容)

5月にP T A大学の開校式を行った。年4回実施し、72人の受講者があった。6月は、役員合同研修会を行い、108名の参加を得て、「感謝できることの幸せ」と題した倉田茂氏による講演を拝聴した。8月は、ソフトバレーボール大会を実施した。241名が参加し、

会員の交流を図った。10月には四国ブロック研究大会愛媛大会兼愛媛県PTA大会に参加した。また、1月には八幡浜市PTA研究大会を開催し、219名の参加があった。研究大会では、「愛の手で未来を築くPTA」をテーマに、子どもを取り巻く有害環境対策事業として「スマホ・ネット世代の子どもとどう向き合うか」と題してジャーナリストの石川結貴氏の講演を行った。近年急増してきた「インターネット等利用に係る子どもの被害」の防止にもつながる研修となった。

(2) 生涯学習支援ネットワークの充実

「浜っ子人材銀行」と「浜っ子サークル銀行」の発行（隔年更新）をしており、地区公民館をはじめ関係機関への配布を行うとともに、八幡浜市公式ホームページにも掲載し、広く市民に周知するなど、学習活動の支援を行った。

【事務事業点検評価委員意見】

- 少子・高齢化及び人口減少の続く中、いかに生きがいのある充実した生涯学習の推進を図るかが大切である。生涯学習の振興は、市民のニーズに応えるよう更に進展、継続させてほしい。
- 婦人会や青年団活動は、会員の減少が続く中、ボランティア活動等、充実した活動がなされていることに感心している。継続して実施、支援をお願いしたい。
- PTA活動は、子どもの成長、発達に直結するだけに会員相互の交流や研修等を通じ、更なる資質の向上に努めていただきたい。
- 「浜っ子人材銀行」等は、市民への周知が行き届いていないようで、公民館活動等において、情報提供や市民への周知に努めていただきたい。

【自己評価】

- 少子・高齢化、また、多様化・高度化する社会の中で、中央公民館を社会教育の拠点とし、利用者の自発的な学習意欲の高揚と多様化に対応できるよう努めるとともに、今後更に高度化するであろう市民のニーズに応え利用者の利便性向上に努めたい。
- 若者に限らずあらゆる世代で集団から個での活動を好む人が増えている中で、婦人会や青年団の活動を継続して行くことは年々難しくなっているが、集団ならではの楽しさが再認識できるような活動を取り入れるなどし、会員数の維持に努めたい。
- PTA活動においては、「愛の手で未来を築くPTA」～愛顔(えがお)あふれる子どもたちとともに～を活動方針として、児童生徒の健全育成、会員の意識と連帯感の向上、人権教育の充実、読書活動の推進等に取り組んできた。特に、2回の講演会の実施は、会員自らの子育てを見直すよい機会となった。今後も会員相互の連携や研修活動の充実に取り組んでい

きたい。なお、市PTA連合会事務局として、市PTA連合会本部役員の意向や単位PTAの意見を十分に生かした連携及び運営・改善に努めていきたい。

- 浜っ子人材・サークル銀行の冊子作成後の利用者と登録者のやり取りなどについては、事務局を仲介せずに行っているため詳細な利用状況は把握できていないが、今後は登録者に利用状況を確認したい。また、引き続き地区公民館と連携するとともにインターネットなども活用し広く市民に周知していきたい。